

技能評価システム移転促進(SESPP)事業

事業実施報告書【タイ】

- ◆2018年1月30日(火)～2月1日(木)
- ◆タイ王国 サムットプラーカーン県 AHRDA
- ◆シーケンス制御2級 技能評価トライアル

平成30年 3月

1. 事業の全体概要

- (実施期間) 平成 30 年(2018 年)1 月 30 日(火)～2 月 1 日(木)
- (実施場所) タイ Automotive Human Resource Development Academy (AHRDA)
- (職 種) シーケンス制御2級 技能評価トライアル
- (講 師) 杉本 公正氏 Mr. Jeerasak Pinyo, Ms. Treephat Pothong
(Denso International Asia Co., Ltd.)
- (受講者数) 評価者数 7 名(タイ評価者:3名、ベトナム評価者:4名) 受検者数 8 名
- (実施日程)

日時	活動名(指導内容)	
1 月 30 日(火) 9:00～16:00 【プレ技能評価 トライアル】	・開講式 在タイ日本大使館、JICA タイ事務所、AHRDA 所長 ・全体スケジュールの説明 ・プレトライアルの準備、実施 ・採点練習 ・評価者による反省会 ・トライアル本番に向けて準備 (機材確認作業も含む)	・評価者7名でロールプレイリハーサル(評価者役:タイ側3名、受検者役:ベトナム側4名) - 専門家/指導員:DENSO3名
1 月 31 日(水) 8:30～16:00 【技能評価トライアル】	・受付、トライアル準備 ・トライアル#1 (受検者8名中の4名) ・採点 ・評価者による反省会 ・トライアル#2の準備 (機材確認作業を含む)	- 評価者:タイ3名 - 評価者サポート:ベトナム4名 - 受検者:タイ4名 - 専門家/指導員:DENSO3名
2 月 1 日(木) 8:30～16:00 【技能評価トライアル】	・受付、トライアル準備 ・トライアル#2(受検者8名中残り4名) ・採点 ・評価者による反省会 ・修了式、講師からの講評	- 評価者:ベトナム4名 - 評価者サポート:タイ3名 - 受検者:タイ4名 - 専門家/指導員:DENSO3名



2. 講師講評

◆評価者について

技能評価トライアル#1では、8月の技能評価者講習（SAT）に参加したタイ評価者3名が中心となり、トライアルを運営した。トライアル実施の際には、検定試験全般の進行及び採点に関して中心的役割を担い、8月の評価者講習の経験を活かしながら、大きな問題なく実施することができた。

技能評価トライアル#2では、ベトナムからの評価者4名によるトライアル運営を実施した。この4名については、技能評価者講習の受講経験がない為（次週、ベトナムにて受講予定）、タイの評価者3名が全体的にサポートを行い、何とか実施できたと言える。ベトナムへ戻ったら、技能評価者講習を受講し、評価者としての更なる能力向上に取り組んで欲しい。

また、今回はタイとベトナムの合同で研修を行ったため、日本語、英語、タイ語、ベトナム語の4ヶ国語が飛び交う環境であったが、評価者全員が真剣に取り組み、徹底的に議論なども行い、国を超えたトライアルや評価者育成の研修ができた。

◆受検者のレベル

受検者の中には、2級レベルの課題を実施したことが無いような者が見受けられた。持参したパソコンでは通信設定もされていないような受検者も見られ、もう少し受検者選定基準を明確にする必要があると考える。

◆会場準備およびその他に関し、指導した内容

- ・腕章の無い人がエリア内に入っても評価者が注意することができず。→その場で評価者に指導
- ・大時計が隅の方に設置されており、受検者の位置によっては見にくい。→大時計の位置変更
- ・標準時間などが記入されている白板の文字が小さくて見にくい。→大きな文字で記入
- ・電源が入ったまま、受検者が配線しているにも関わらず、注意せず。→その場で評価者に指導
- ・ストップウォッチのアラームが繰り返し鳴っていた。→アラーム OFF の徹底

◆資料などの翻訳

今回は、事前に弊社の講師が文面チェックを行い、修正をかけた資料で実施した為、翻訳による大きな問題はなく、実施することができた。シーケンス制御職種では、言葉一つで大きく試験内容が変わってしまう恐れがある為、事前に専門家による翻訳チェックが重要であると考ええる。

◆全体を通して

今回はベトナム評価者の追加もあり、通訳時間などで非常に評価者自身も苦労したと思うが、皆さんが真剣に納得するまで議論をし、評価者としてのあり方を導き出す姿勢はとても素晴らしかった。評価者には、「公平・公正」であることをベースとし、更には“受検者の立場”に立った試験準備や運営に心掛けてもらえるように指導した。今回の経験を活かし、更により良い評価者として取り組んで頂ける事を期待する。この検定を通じて、タイの皆さんが“受験したい”、“絶対に合格し、資格として持ちたい”と思えるように、タイ国として技能検定普及に取り組んでいくことを期待している。